

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、閉会中の所管事務調査や6月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。



大峯辺地（上大峯線）

総務常任委員会（吉村幸治委員長）

☆辺地に係る公共的施設の
総合整備計画の変更につ
いて（財部町大峯辺地）

大峯辺地（平成19～23年度）に新たに市道「上大峯線」の改良舗装工事を追加するものである。
問 整備を必要とする事情の内容の中で、子どもたちの自転車通学という文言はよいか。

答 当初計画した時点では生徒2名が北中学校に自転車通学をしていたが現在はいない。当大峯地区は集落営農を取り組んでおり、また定住にも関係課と連携を図りながら努力していきたいと思っている。

☆土地の取得について
（財部地域宅地分譲整備
事業用地）

曾於市の人口増と地域の活性化を図ることを目的に進めるものである。
問 地元から場所を変更して頂きたいという要望書が出ているが、なぜあそこを計画したのか。

答 プロジェクトチームで7回の会議を重ね、16箇所の候補地の中から町の中心に近く、景観にも優れて、売れる場所ということで計画し、地元へは説明会を実施した。

問 正ヶ峯地区や財部温泉近辺も可能性はなかったのか。

答 ほとんど基盤整備をしており、県と協議したところ一種農地であり農振除外はできないということであった。

問 畜舎と隣接しているが問題はないか。
答 畜舎の臭いや鳴き声などの対策については、



末吉中央分団詰所建設予定地

隣接する場所に公園や道路など計画し今後十分検討していく。

☆平成22年度曾於市一般
会計予算の補正（所管分）

問 末吉中央分団詰所の建設場所を今のところから変えるということはいないことだが、なぜ図書館前にしたのか。

答 今の所は駐車場がないということである。また栄楽公園駐車場の所も考えたが公園の面積の一部でだめであった。

問 末吉中央分団詰所建設によって図書館前の駐車場が狭くなるが新しく確保するのか。

答 この近くに駐車場を確保したいと思っている。

問 危険廃屋解体撤去補助金の増はなぜか。

答 当初30件予算計上していたが、申請件数が急増していることから新たに40件追加するものである。

☆所管事務調査

（調査事項）

・市内中学校調査

（内容）

平成24年度から財部・末吉の各中学校をそれぞれ一校に統合することから4中学校を調査しました。
南之郷中学校 生徒数30名P戸数27戸で「興せさわやか南之郷旋風」の下、早朝トレーニングや全校朝会での一分間スピーチなど特色ある学校教育がなされている。

財部南中学校 校訓「生魂（いっただし）」の下、生徒数21名P戸数20戸で特に学力面は向上しており、個別指導が徹底され学校行事や施設整備には地域の協力体制が整っている。

財部北中学校 生徒数12名である。21年度の卒業生が13名だったため生徒数が激減した。部活は男子テニスのみのため始業



財部中学校

前放課後のスポーツ活動を取り入れ奨励している。
財部中学校 生徒数215名（6クラス）であるが統合の24年度は254名（8クラス）となる。26年度においては210名（6クラス）と現在と同程度になる見込みで平成24年度夏に校舎完成の予定である。
意見 財部中の施設整備は地域や学校現場の意見を積極的に取り入れ、実態に即した総合的な計画作成に努めるよう意見がありました。

☆曾於市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

問 法定外繰入れをした上での保険税引き上げだが今後の傾向は。
答 25年度以降は新しい後期高齢者医療制度の見込みもあり予測は難しい。国保は、県単位での広域化の流れもある中で、曾於市としての対応をしっかりと行っていく。

☆陳情
 30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について

意見 教育予算を国全体としてしっかりと確保・充実していく必要から本陳情の趣旨に賛同すべきである。

☆陳情
 国民健康保険税の8%もの値上げ中止を求める陳情書について

意見 被保険者の所得が減ってきている中、社会

保険との不公平感もあり市も改善の努力が必要。
意見 抜本的な見直しを国においても行うべきだ。

☆陳情
 曾於市国民健康保険税の引き上げに関する陳情書について

意見 市民感情は大事であり陳情項目は鋭い指摘である。引き上げは最低限度にとどめて欲しいとの趣旨は大いに理解できる。

意見 陳情項目が多岐にわたっており、不況の中、国保税引上げは市民にとって苦しいことは理解するが、財源を保険料で賄う原則からすると一般会計に頼るといふ本陳情は路線をはずれている。

☆平成22年度曾於市一般会計補正予算について（所管分）

・長寿祝金支給事業431万76千円の減額について
意見 3月定例会におけ

る当初予算の審査内容を考慮しての変更であると推測できるが、市民に対してはその中身について十分な説明を行い、周知徹底をはかるべきである。

☆平成22年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正

問 歳入の保険税8300万9千円の減額は。
答 被保険者の所得の減が大きき理由である。

☆平成22年度曾於市老人保健特別会計予算の補正

21年度老人保健医療交付金の精算に伴う支払基金への償還金の補正である。

☆平成22年度曾於市介護保険特別会計の補正

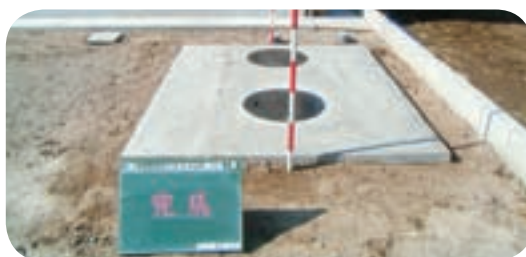
問 繰越金は最終的にいくらになるか。
答 21年度決算見込みで3億4767万円である。

☆平成22年度生活排水処理事業特別会計予算の補正

意見 特別会計における人件費は実態に即して計上するように。



合併浄化槽据え付け状況



完成

☆所管事務調査

（調査事項）

・土木行政に関する調査

（内容）

曾於市環状線構想計画について整備状況等を調査しました。

現行路線延長82・2キロメートル。国道、県道、市道、広域農道を接続して旧3町をつなぎ市民の一体感を醸成するものであるが、北部と南部に未整備の箇所が集中している。総合振興計画における環状線の位置づけはどうなっているのか。路線ごとに案内板を立てたらいいのではないか。道路の美化の取組をもっと推進すべきではないか、構想の中にさらに市道の追加をできないか等の意見要望が出された。

（調査事項）

・農林業・畜産振興に関する調査

（内容）

平成22年4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫について、経過と現状の報告を求めた。終わりの見えない、自主防疫の中で畜産農家は心身共に極限状態にあり、畜産経営の先行に大きな不安を抱え地域経済、市民生活にも多大な影響が出ていることから、国に対し意見書の提出を決定した。

☆曾於市営住宅条例の一部を改正する条例の制定

本年度鳥越団地建替事業による既存住宅3戸の用途廃止に伴い、条例の一部を改正するものである。

☆曾於市道路路線の廃止及び認定について（下中野線、阿邪里線）

県道改良に伴い、規定

により市道を廃止し、旧県道部分を市道認定するものである。



市道阿邪里線

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正（所管分）

問 畜産振興基金の内容目的は。

答 口蹄疫に伴いセリ市が延期され、4月セリ市分の子牛はすでに月齢12カ月に達しており、今後自家保留等の子牛が増え

てくると予想されることから、基金の積立を願

いするものである。

問 地域振興住宅の棟あたりの敷地面積は。

答 3戸分の敷地を買う場合、通路部分や道路への取り付けの部分も含め

ての計算で400㎡程度あれば建築可能である。

問 選挙の方法・内容は。

答 選挙会は3回行われ1回目は応募された31名の中から書類審査により、条例と内規に基づき21名に絞り込み2回目に、申し込みの動機、出身地及び市内に在住する身内等の確認と、定住、自治会への加入、地域行事への参加及び児童の通学の希望、これらの意思確認をし、3回目の選挙会においては、住宅完成時の最終確認として、確実に入居するか、また買い取りまで考えているか聞き取りを行っている。

問 払い下げについては明記したもので伝えているのか。

答 明記されたものではないが、今後検討していく。

問 市単独土地改良事業の内容は。

答 大隅の西原地区のボーリング調査委託料と未

吉国原地区の水中ポンプ取替補修工事である。

☆平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計予算の補正

問 下水道事業の市債は全体でいくらあるか。

また利率はどのようになっているか。

答 22年度は1億6790万円、全体で19億6876万1千円になる。利率は、1・75%～2・1%である。

7月3日 豪雨災害

6月中旬以降、活発な梅雨前線の影響による激しい雨が降り、7月3日の集中豪雨はこれまでにない深刻な被害を残しました。

特に財部町北部の中谷地区、北地区に被害が集中しております。水田は約43.6%が埋没、踊橋の落橋や、多数の住宅の全半壊、床上、床下浸水の被害を受け、避難生活を強いられている世帯もあります。住民が安心して生活できる環境づくりのために、関係機関と協力して一日も早い復旧が望めます。



災害復旧が待たれる中谷地区（財部町）